



わくわく
8月



水遊びでは

気温が高い日が続いていますが、テントや遮光ネットで熱中症対策をしながら水遊びを楽しんでいます。「この葉っぱをすりつぶしたらどうなる？」という疑問から自宅から持ってきた花や朝顔の花をすりつぶして、どんな色になるのか、気付いたことを友達同士で話し合う姿が見られました。また、石鹸を削って少量の水を入れて泡立て器で混ぜると、クリーミーな泡になり、様々な色の泡でパフェを作ったり、凍らせるとどうなるか試してみました。すりつぶした花や泡の水を触ってみました。「冷たい。気持ちいい。」と大喜びの子どもたちでしたよ。子どもたちの不思議に感じたことを試しながら、学びに向かう気持ちや姿勢をこれからも大切にしていきたいと思っています。

想像力を膨らませて

部屋では、7月にプラネタリウムを体験したことから自然と星や星座に興味を持ち始めた子どもたち。星の図鑑を見ながら星の形をラキューや画用紙で作って楽しんでいます。また星座をラキューで作ることで、自分の星座が何か調べようとする子もいましたよ。部屋に、プラネタリウムを積み木で表現して、小さいクラスの子たちにも来てもらえるように招待状も書きました。絵本「そうべえまっくろけのけ」が大好きで読み進めるうちに、「そうべえのほしくずにつけたものは、作れないけどそうめんはどうか？」とイメージを膨らませて、「《じごくのそうめん》」やさんが開店して必要なものをラキューで作って遊んでいます。空想の世界に入って遊ぶことで、物語を楽しむだけでなく想像する力や言葉で表現する力も育てます。また、何が必要か自分たちで考えて用意するなど自発的な心を育てるきっかけになればいいなと思っています。



ピタゴラススイッチ作ったよ！

水遊びをしていると「ペットボトルを繋いでピタゴラススイッチを作れないか？」と考える姿がありました。実際に作ってみると上手く水が進まなかったり、自分の考えているようにならないことも。段ボールを使って部屋にもピタゴラススイッチが出来上がりました。プラネタリウムを見に来た子たちにも好評でビー玉を転がして一緒に遊んでいます。失敗を重ねながらもどうしたら良くなるか生み出す力が大切だと思うので、一緒に遊びながら育んでいきたいと思っています。

